

第7回（平成26年2月期）番組審議会議事録

1. 開催日時 2014年2月28日（金）17:00～18:00

2. 開催場所 弊社会議室

3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員 5名 為岡務・山本幸男・宮川清・増田匡・平川愛恵（中村忠司代理）

欠席委員 2名 正岡健二・木辻清子

放送事業者側出席者 金千秋・平野由美子

4. 議事

番組審議

第7回審議番組「ラジネットひょうご」（15分）

1月26日（土）12:45～13:00放送

ナレーション：金千秋（FMわいわい）、はまのかずみ（FMわいわい）

お話をうかがった方：金崎伊保子さん（おおつちさいがいエフエム）

この番組は、兵庫県地域ラジオネットワーク連絡会（ラジネット）に加盟している兵庫県下のコミュニティ放送局10局とラジオ関西が毎週順番に制作・放送している番組で、今回はFMわいわいが担当した第795回放送分である。

5. 議事の概要

番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 欠席者の審議紹介

【木辻清子委員】

- ・ ナレーションから電話中継に変わった時に急に音量が小さくなったのでボリュームを一杯にしななければ聴こえなかった。
- ・ 大槌町の宅地募集の話で70坪が普通というのにはびっくりした。仮設住宅は狭すぎて耐えられないのでは想像した。
- ・ 「どうしたら幸せになれるのかを考えてまちづくりをしていくのが大事」「自分の住むところが見えないということが不安」という言葉が印象的だった。

6-2. 出席者の審議

【増田匡委員】

- ・ サテライト会場から電話中継を直接流すからなのか、やはり音が低く感じられた。しかし、それなりに臨場感がありそれなりによかったのではないかな。
- ・ 大槌町の方の生の声を聞く機会としてよかった。声を聞くと心に残る。
- ・ 特に住宅の問題は阪神淡路大震災の経験をそのまま持って行けない分野であると改めて思った。

【平川愛恵（中村忠司委員代理）】

- ・ やはり音が小さかった。スカイプ中継だからか？
- ・ 1.17の特番をラジネットひょうごで放送するというギャップが面白いと感じた。

【山本幸男委員】

- ・ はまのさんの声は聴きやすい。
- ・ 電話中継は回線のせいか仕方がないのではないかな。
- ・ 大槌町の言葉で話す金崎さんの話し方が良かった。

【宮川清委員】

- ・ 非常に良い番組であった。
- ・ 1月17日の特別番組、屋外での生放送という緊迫感が感じられた。
- ・ 神戸と大槌町の被災経験者の先輩後輩のやり取りが良かった。
- ・ 東日本大震災を忘れないためにも被災地とつながる番組は続けてほしい。

【為岡務委員長】

- ・ 東北の消防団の方から津波を想定した避難訓練の情報をもらっているが、神戸でこれからどうやって生かしていくかを考えなければならない。
- ・ 小学生に神戸の経験を語ろうとしても感覚にズレがありなかなか難しい。時間が経つと忘れてしまうのは仕方がないが、被災地とコミュニケーションを取ったり情報を共有することの大切さなど、いろいろなことを考えながら番組を聴いた。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ まもなく3月11日がまたやってくる。
- ・ 第1～4金曜日は臨時災害エフエム局との電話中継をしている。
(第1週おだがいさまエフエム、第2週おおつちさいがいエフエム、第3週FMあおぞら、第4週けせんぬまさいがいエフエム)
- ・ 被災地にはたまたま遭遇したジャーナリストや一般の方が撮影した生々しいたくさん映像が残っている。神戸でこれらをどう活用していけるかが課題の一つではないかと考える。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日
担当者に連絡（平成26年3月1日）
8. 審議機関の答申または意見を公表した場合における公表内容、方法、年月日
公表内容…議事の内容
公表方法…自社放送（平成26年2月1日12:00～13:55の番組内で放送予定）
事務所に議事録の備置き（平成26年3月18日）
ホームページに掲載 <http://www.tcc117.org/fmyy/index.php?cl=13-98>
9. その他参考事項
特になし

以上